

「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」 (町丁別・年齢別) - 平成 19 年 1 月 - 概要

住民基本台帳に記載されている、都内の世帯数と町丁別及び年齢別の人口を、平成 19 年 1 月 1 日現在で取りまとめました。それによると、人口は 12,339,259 人で前年より 92,235 人増え、11 年連続して増加し、過去最高となっています。

平成 19 年 1 月 1 日現在の東京都と全国の人口(平成 18 年 3 月 31 日現在)の人口を比較すると、東京都が全国に占める割合は 9.71%、年齢(3 区分)別構成比をみると、年少人口、老年人口の割合は全国より低く、生産年齢人口は高くなっている。

(本文 1、10、11 頁 表 1 表 9 図 4-1、4-2)

平成 19 年の主な特徴

1 年少人口 引き続き増加 人口に占める割合は減少が続く

年少人口(0～14 歳)は、平成 14 年から増加に転じ、平成 19 年は 1,461,387 人となった。前年と比較すると 9,471 人(0.65%)増加し、6 年連続の増加となった。

人口総数に占める年少人口の割合は、昭和 51 年以降、連続で減少しており、10 年前の平成 9 年と比較すると、0.82 ポイントの減、11.84%となった。

(本文 8～9 頁)(参考表第 4 表、7 表)

2 老年人口 一貫して増加が続く 75 歳以上人口が 100 万人を突破

老年人口(65 歳以上)は、調査開始(昭和 32 年)以来、一貫して増加しており、平成 19 年は 2,332,305 人となった。前年と比較すると 83,026 人(3.69%)の増加となった。

また、老年人口のうち 75 歳以上の人口は 1,002,807 人と初めて 100 万人を超えた。

人口総数に占める老年人口の割合は 18.90%となり、年齢 3 区分のうち老年人口のみが割合を増している。

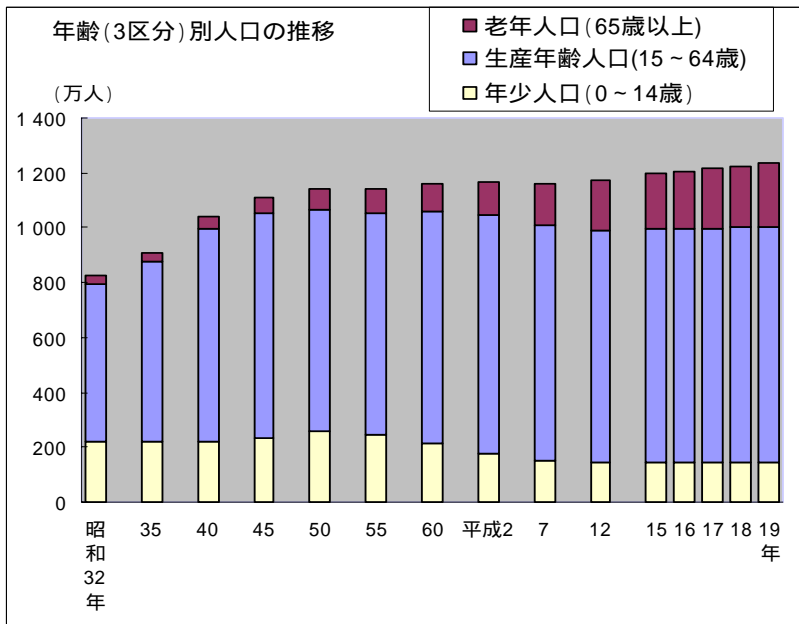
(本文 8～9 頁)(参考表第 6 表、7 表)

3 生産年齢人口 6 年ぶりに減少 人口に占める割合も減少が続く

生産年齢人口(15～64 歳)は平成 14 年以降増加していたが、平成 19 年はわずかながら減少し 8,545,560 人となった。前年と比較すると、259 人(0.00%)減少し、6 年ぶりの減少となった。

人口総数に占める生産年齢人口の割合は 69.26%で、平成 5 年以降 15 年連続で減少した。

(本文 8～9 頁)(参考表第 5 表、7 表)



問い合わせ先
総務局統計部人口統計課
電話 直通 03-5388-2531
内線 25-510,511